

5/24 (金) の発表

報道発表資料の配付日時 5/24 (金) 15時00分

発表項目	感染性胃腸炎患者の発生について (速報)		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
	月 日 () 時 分~	発表場所	
概要	別紙のとおり ■ 速報 (感染性胃腸炎 (5類感染症) の集団発生について速報するもの) 苫小牧保健所 保育所 20名 ノロ ……別紙1 釧路保健所 保育所 16名 ロタ ……別紙2 中標津保健所 小学校 24名 ノロ ……別紙3		
参考			

報道 (取材) に当たっての お願い	本公表は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第16条の規定に基づき、個人情報の保護に留意の上、感染症の発生状況等に関して必要な情報を公表するものです。 つきましては、報道に当たって、個人のプライバシー等の保護のため特段の御配慮をお願いします。		
他のクラブ との関係	同時配付	(場所)	
	同時レク	苫小牧、釧路、中標津保健所	

担当 (連絡先)	保健福祉部健康安全局地域保健課感染症・特定疾患グループ (担当: 高橋) 電話 (代表) 011-231-4111 (内線25-506) (ダイヤル) 011-204-5253		
-------------	--	--	--

感染性胃腸炎患者等の発生について

令和元年(2019年)5月24日(金) 15:00
 北海道保健福祉部健康安全局地域保健課
 TEL: 011-231-4111 (内線: 25-506)
 FAX: 011-232-2013

令和元年(2019年)5月23日(木)、苫小牧保健所管内の保育所において、感染性胃腸炎患者及びその疑いのある者の発生を確認しました。

記

1 発生の探知

令和元年(2019年)5月22日(水)に、苫小牧保健所管内の保育所から、複数の園児及び職員がおう吐、下痢などの症状を呈している旨、同保健所に通報があった。

2 発生の概要

苫小牧保健所管内の保育所の園児16名及び職員4名の計20名が、5月15日(水)から5月22日(水)にかけて、おう吐、下痢、発熱の症状を呈し、うち10名が医療機関を受診し、治療を受けた。(入院した者はいない。)

3 現在の状況

5月24日(金)現在、症状は回復もしくは快方に向かっている。

4 経過

5月15日(水)～22日(水) おう吐、下痢、発熱の有症者発生
 22日(水) 保育所から保健所に通報
 24日(金) 保健所において有症者のうち4名の便を検査した結果、4名全員からノロウイルスを確認

5 感染経路

現在調査中

6 対応

苫小牧保健所では、当該保育所に対し、園児及び職員の健康状況の把握、手洗いの励行及び施設内の消毒、清潔保持等、感染防止対策について指導を行った。

7 その他

この件については、本日15時00分、苫小牧保健所においても資料配付を行っています。報道に当たっては、個人のプライバシー等の保護のため特段の御配慮をお願いします。

ノロウイルスとは

ノロウイルスとは、世界中に広く分布し、急性胃腸炎の原因の一つとなるウイルスである。ノロウイルスの人への感染は、ウイルスに汚染された飲食物を口にすることや、感染者との接触等による二次感染によって起こり、主に11月から3月に集中しているが、一年を通して発生がみられる。

主 症 状：吐き気、おう吐、腹痛、下痢、発熱(軽度)

潜 伏 期 間：24～48時間

経 過・予 後：通常3日以内で回復、予後は良好

【道内の集団感染性胃腸炎の発生状況(ロタウイルスを除く) 5月24日(金)現在】

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
件数(件)	206	210	138	150	179	182	137	80
有症者数(人)	4,987	4,878	3,004	3,638	4,465	4,341	2,849	1,676

*政令市(札幌市を除く)保健所分を含む。

*定点医療機関からの感染性胃腸炎患者報告数については、北海道立衛生研究所北海道感染症情報センターホームページにて公開しています。(http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html)

感染性胃腸炎患者等の発生について

令和元年(2019年)5月24日(金) 15:00
 北海道保健福祉部健康安全局地域保健課
 TEL: 011-231-4111 (内線: 25-506)
 FAX: 011-232-2013

令和元年(2019年)5月23日(木)、釧路保健所管内の保育所において、感染性胃腸炎患者及びその疑いのある者の発生を確認しました。

記

1 探知

令和元年(2019年)5月23日(木)に、釧路保健所管内の保育所から、園児がおう吐、発熱、下痢などの症状を呈している旨、保健所に通報があった。

2 発生の概要

釧路保健所管内の保育所の園児16名が、5月12日(日)から5月21日(火)にかけて、おう吐、発熱、下痢などの症状を呈し、16名全員が医療機関を受診し、治療を受け、うち2名が入院した。

3 現在の症状

5月24日(金)現在、症状は回復もしくは快方に向かっている。
 入院した2名のうち、1名は回復し退院した。入院中の1名についても快方に向かっている。

4 経過

5月12日(日)～5月21日(火)	おう吐、発熱、下痢などの有症者発生
5月23日(木)	保育所から保健所に通報
5月15日(水)～5月22日(水)	医療機関において、有症者のうち4名の便を検査した結果、4名全員からロタウイルスを確認

5 感染経路

現在調査中

6 対応

釧路保健所では、当該保育所に対し、園児及び職員の健康状況の把握、手洗いの励行及び施設内の消毒、清潔保持等、感染防止対策について指導を行った。

7 その他

この件については、本日15時00分、釧路保健所においても、資料配付を行っています。
 報道に当たっては、個人のプライバシー等の保護のため特段の御配慮をお願いします。

ロタウイルスとは

ロタウイルスは、主に乳幼児に見られる、おう吐・下痢症状の原因となるウイルスである。
 ロタウイルスの人への感染は、ウイルスに汚染された飲食物を口にすることや、感染者との接触等による二次感染によって起こり、冬期から春期に集中して発生する。
 なお、成人でも感染が見られることがある。

主 症 状：下痢、吐き気、おう吐、腹痛、発熱
 潜 伏 期 間：2～4日
 経 過・予 後：通常1～2週間で回復

感染性胃腸炎患者等の発生について

令和元年（2019年）5月24日（金）15:00

北海道保健福祉部健康安全局地域保健課

TEL：011-231-4111（内線：25-506）

FAX：011-232-2013

令和元年（2019年）5月24日（金）、中標津保健所管内の小学校において、感染性胃腸炎患者及びその疑いのある者の発生を確認しました。

記

1 探知

令和元年（2019年）5月21日（火）に、中標津保健所管内の教育委員会から、複数の児童が胃腸炎症状を呈している旨、同保健所に通報があった。

2 発生の概要

中標津保健所管内の小学校の児童24名が、5月14日（火）から5月20日（月）にかけて、下痢、おう吐、腹痛などの症状を呈し、うち10名が医療機関を受診し、治療を受けた。（入院した者はいない。）

3 現在の症状

5月24日（金）現在、症状は回復もしくは快方に向かっている。

4 経過

5月14日（火）～5月20日（月） 下痢、おう吐、腹痛などの有症者発生
 21日（火） 教育委員会から保健所に通報
 22日（水） 保健所において有症者のうち3名の便を検査した結果、3名全員からノロウイルスを確認

5 感染経路

現在調査中

6 対応

中標津保健所では、当該小学校に対し、児童及び職員等の健康状況の把握、手洗いの励行及び施設内の消毒、清潔保持等、感染防止対策について指導を行った。

7 その他

この件については、中標津保健所においても、本日15時00分に資料配付を行っている。

<報道に当たっては、個人のプライバシー等の保護のため特段のご配慮をお願いします。>

ノロウイルスとは

ノロウイルスとは、世界中に広く分布し、急性胃腸炎の原因の一つとなるウイルスである。ノロウイルスの人への感染は、ウイルスに汚染された飲食物を口にする事や、感染者との接触等による二次感染によって起こり、主に11月から3月に集中しているが、一年を通して発生がみられる。

主 症 状：吐き気、おう吐、腹痛、下痢、発熱（軽度）

潜 伏 期 間：24～48時間

経過・予後：通常3日以内で回復、予後は良好

【道内の集団感染性胃腸炎の発生状況（ロタウイルス除く） 5月24日（金）現在】

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
件数（件）	206	210	138	150	179	182	137	80
有症者数（人）	4,987	4,878	3,004	3,638	4,465	4,341	2,879	1,676

*政令市（札幌市を除く）保健所分を含む。

*定点医療機関からの感染性胃腸炎患者報告数については、北海道立衛生研究所北海道感染症情報センターホームページにて公開しています。（<http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html>）